番号　分野　障害種別　記入者

意見等　（収集方法）

1　その他　精神障害　本人

・自分が病気であるということを　家族以外知らず，友達や親族にも教えていません。通院しながら，仕事してみましたが，管理職やってたので，無理がきかず，仕事を辞め障害者年金が主な収入です。

日常生活は普通にしてますので，差別は受けていません。

私が病気であることを　家族しかしらず，友達や親族・近所の人も知りません。

ドクタ―ストップで4年前25年３ヶ月勤務した職場退職しました。今の主な収入は障害者厚生年金です。

差別は受けていません。

雇用保険（失業保険）も通常150日しかでないが病気で辞めたので300日もらいました。銀行の定期預金も障害者の為，非課税です。仙台に住んでて「ふれあい乗車証」ももらってるので，その分貯金に回せます。私の病気は労災認定されました。管理職でストレスのたまりすぎと主治医から言われました。

(調査票)

2　その他　精神障害　本人

・私が４０代の頃，○○というホ―ムヘルパ―から仕事をもらって働いていた時，御老人が多いのですが，車いすの５０才くらいの女性などもおられた。

障害のある方たちの食事がどうなのか，栄養士さんたちがまわり，大丈夫な薬をもんでいるのか，信頼できる薬剤師さん達がまわるとよいと思う。(調査票)

3　その他　精神障害　家族

・私自身もてんかんの障害を持つ身ですが，労働を行う上で，周囲の理解がどの程度の度合いであるかがとても重要になる点であると感じています。

例えば「足が不自由である」といった単に周囲が足にだけ配慮すれば良いのか，と単純に考えてしまうのではなく，足が不自由な場合に起きる副次的な精神面への影響あるいは薬物による副作用まで周囲が知っておく事で障害を持つ人にとってより円滑な社会参加が可能であると考えます。(調査票)

4　その他　全障害共通　家族

・降りた駅の前方又は後方どちらにエレベ―タ―があるのかわかる。

（駅名の表示の）上か下に印を付ける事により弱者がエレベ―タ―を利用しやすくなる。

ホ―ムから改札へエレベ―タ―で昇った時に，点字タイルが本当にわかりやすく，又は，アナウンスがなされているか，しらべて下さい。(調査票)

5　その他　精神障害　本人

・てんかんについて，わかってもらいたい。てんかんで倒れると気おくがなくなる(調査票)

6　その他　知的障害　本人

・社会で暮らすうえで，良くなって来ているものの，障害を持っている，どういう対応をしたら良いのか，少しずつ理解はされているものの，まだまだって言うこともあるので，コミュニケ―ションを通して，社会にはばたく機会が増えればと願っています。(調査票)

7　その他　精神障害　本人

・私自身，交通事故に合った時から「何がおこったのか」の自覚がなく，ケガの方もおもいとは思ってもいませんでした。(調査票)

8　その他　高次脳機能障害　家族

・どこに障害があるか，なかなか見えづらい障害で理解してもらいにくいため，支援が得られにくい状況がある。(意見交換会)

9　その他　高次脳機能障害　本人

・普通には扱ってほしいが，配慮してもらいたいところもあり難しい。(意見交換会)

10　その他　高次脳機能障害　本人

・支援者の中に「あえてそこを聞く必要はない」とか，「わからないんだったら，こちらで決めて決まったことを提供すればいい」という人がいて，情報を提供しなかったり，自分のことを決断できなくなることがある。(意見交換会)

11　その他　高次脳機能障害　家族

・大人になってから知識として入ってくるより，子供のときに皆同じなんだとか，違う人がいるとか，そういうところから入っていくと，10年後，20年後は大分違ってくると思う。(意見交換会)

12　その他　自閉症　家族

・やはり小さいときからの周りの障害持っていない人たちの啓発しかない。(意見交換会)

13　その他　自閉症　家族

・差別はされていても，　本人はよくわかっていない場合が多く，周りの　家族の方が感じている。(意見交換会)

14　その他　自閉症　家族

・投票のとき，福祉コ―ナ―を１つつくってもらうと障害のある人は楽。(意見交換会)

15　その他　自閉症　家族

・役所などの入り口に，配慮の必要な方に対応できるような案内の人を置いてほしい。(意見交換会)

16　その他　自閉症　家族

・親が一番　本人に差別とか人権を侵害しているのかなと思って悩んでしまう。(意見交換会)

17　その他　自閉症　家族

・何でしてくれないのだけじゃなく，何回も何回もお願いですからという感じのやりとりもやはり必要。(意見交換会)

18　その他　自閉症　家族

・周りを巻き込んでいって理解してもらうのが一番早いと思っている。(意見交換会)

19　その他　自閉症　家族

・障害といったらイコ―ル車椅子の人とか，そういう人にやさしい町にすれば，障害者にやさしい町というふうに捉えている人が多い。(意見交換会)

20　その他　自閉症　家族

・小さいときから一緒に暮らして，目に見えない障害者がいるということを知って育っている子供がどれだけいるかが，将来，目に見えない障害をわかってくれる人の数に影響すると思う。(意見交換会)

21　その他　難病　本人

・差別は，人それぞれ認識が違う。それを合わせる必要があるのではないか。(意見交換会)

22　その他　難病　本人

・障害者の差別に限定するのはすごく抵抗がある。差別は市民全体にかかわる問題だと思うので，市民条例みたいな形で持っていけたらいい。(意見交換会)

23　その他　難病　本人

・小さい子供たちから障害者の人たちと交流するとか，身近にいると，比較的受け入れやすいと思う。(意見交換会)

24　その他　難病　本人

・障害を持っていて活動する，移動するという手段をある程度，地方自治体中心にサポ―トしていくというのが大切。(意見交換会)

25　その他　難病　本人

・病気の発症時に，病院の先生から，例えばこういうような患者会があるよとか情報があると，非常にありがたい。(意見交換会)

26　その他　難病　本人

・病院や役場の受付のところに拡大読書器があれば，相当違うのではないか。(意見交換会)

27　その他　難病　本人

・差別という言葉自体は，障害，健常全く関係なく全てに係る話。(意見交換会)

28　その他　難病　本人

・自分が差別を受けたということは，今のところは感じたことはない。(意見交換会)

29　その他　難病　本人

・相手自身も考え方の違いで，差別は別にしていないという感覚でやっている場合もある。どれとどれは差別に当たるか判断してもらい，啓蒙的なことをやるかが重要。(意見交換会)

30　その他　難病　本人

・大変なことを訴えるということは，やっぱり必要だが，訴えることができない方たちをどうやってやるか重要ではないか。(意見交換会)

31　その他　難病　本人

・障害者の当事者自身も声を出していくことがもちろん必要だし，行政は行政の立場として周知することも必要。(意見交換会)

32　その他　視覚障害　本人

・生まれつき障害か，途中からなのか，視覚障害の場合は見えない，見えにくいというのはかなり人によって違い，同じような事例でも差別であったり，差別でなかったりすることがあり得る。(意見交換会)

33　その他　身体障害　本人

・小さい時からの教育が一番だと思う。(意見交換会)

34　その他　身体障害　福祉関係事業者等

・障害者の方と働いているゆえに，理解しているようで，気付かずに逆に差別をしていることもあるかもしれない。(意見交換会)

35　その他　身体障害　福祉関係事業者等

・支援をしていくとき，自分たちも気づかない差別が出ているんじゃないか。(意見交換会)

36　その他　身体障害　福祉関係事業者等

・社会の制度や仕組み，あるいは意識の違い，そういう点からも差別と言われるようなものが生じているんじゃないか。(意見交換会)

37　その他　身体障害　本人

・企業での障害者雇用の促進という傾向がある中で，これからまた何か難しいことが課せられるのかと反対の傾向になってしまわないような受けとめ方をしていただけるようにする必要がある。(意見交換会)

38　その他　身体障害　本人

・互いの理解に基づく共生社会をつくるためには，当事者が最初にお互いを理解するということから始めないと，話が進んでいかない。(意見交換会)

39　その他　身体障害　本人

・避難所のあり方も，もう少し，既存の施設も有効活用すれば，差別解消につながるんじゃないか。(意見交換会)

40　その他　身体障害　本人

・同じ障害を持っていても，身内に対して親切さはあるが，よその人間だとそうでない人たちが多い。(意見交換会)

41　その他　身体障害　本人

・いろんな切り口から啓発が必要。(意見交換会)

42　その他　身体障害　本人

・実際に障害を持っても，十分働いている方の主張をどんどん出していくような発表の場などもつくる必要がある。(意見交換会)

43　その他　身体障害　本人

・養護学校から施設に入る時，「もう少し選択肢があって，その中でも選んでいきたいと思ったが，学校の先生とか支援者の方の話でここに来た。来たくて来たわけではない。」という人がいた。(意見交換会)

44　その他　身体障害　本人

・聞こえないのでメ―ルとファクスでお願いできないかと説明して，やっと対応してくれるようになったので，きちんと説明するのも大切だと思う。(意見交換会)

45　その他　身体障害　本人

・盲聾者自身，障害者自身が差別を受けたということをわからない場合もある。

不利益を被っていても，不利な扱いを受けているということを知らないまま過ごしている可能性もある。(

意見交換会)

46　その他　身体障害　本人

・一般市民の方には，手書きでも構いませんとか，ゆっくりはっきりお話ししてくださいというような啓発が必要。学校の福祉体験の中で，専門のところからそういった課題を教えていかないといけない。(意見交換会)

47　その他　身体障害　本人

・難聴者は，外見ではわからない障害を持っているために，周りの人たちが聞こえないということを理解できない。言葉を発しているから，本当は聞こえているんじゃないのとよく誤解される。(意見交換会)

48　その他　知的障害　家族

・義務教育の時から障害の理解，啓発といったものが必要。(意見交換会)

49　その他　知的障害　家族

・嫌な思いを嫌な思いとして認識することが難しいなど，知的障害のある方々の特性を踏まえて意見を集めないと，正しい意見収集にならない。(意見交換会)

50　その他　知的障害　福祉関係事業者等

・障害理解を市民の方々にどう広めていくかというところがまずスタ―ト。(意見交換会)

51　その他　知的障害　福祉関係事業者等

・施設の中にだけいないで，どんどん地域に出ていって困ったことがあったら，それを解決していく。(意見交換会)

52　その他　知的障害　福祉関係事業者等

・施設に保育の実習生を受け入れて，今の若い人たちに対して障害者の人たちの生活を知ってもらう。中学生の職場実習というのも受け入れたこともある。(意見交換会)

53　その他　知的障害　福祉関係事業者等

・広報の不十分さもあり，地域の理解がうまくいってないこともあるが，当事者も前面に出て話したり，声がけしなければいけない。(意見交換会)

54　その他　知的障害　本人

・私たちを知ってもらいたい。(意見交換会)

55　その他　精神障害　本人

・差別の問題は，片方だけじゃなくて両方の話を聞かないと，それが差別なのかどうなのかというのを，判断するのは難しい。(意見交換会)

56　その他　精神障害　本人

・古い考えに基づいてつくられた施設やサ―ビスでは，施設のあり方や職員のかかわりが変わっていかなきゃない。(意見交換会)

57　その他　精神障害　本人

・差別について訴えるのも大事だが，それと同時にやはり自分自身ができるところを発信していくということも大事。(意見交換会)

58　その他　精神障害　本人

・差別について正しい知識を持っていても，実際に障害を持った方と接しないで，上から目線でみるのではなく，実際に触れ合って，人間対人間でつき合ってほしい。(意見交換会)

59　その他　精神障害　本人

・学生への講義後のレポ―トで，精神障害には暗いイメ―ジや何かしそうな人だと書かれている方がたくさんいた。何でそういう理解になっているかというと，親のほうの偏見がある。意見交換会

60　その他　精神障害　本人

・交流の場を多く持つ必要がある。それが性格なのか，病気なのかは交流の場を多くすればわかってくる。(意見交換会)

61　その他　全障害共通　本人

・障害を理由として福祉サ―ビスの利用に関する適切な相談及び支援が行われることなく，　本人の意に反して入所施設における生活を強いることは絶対してはいけない。(意見交換会)

62　その他　全障害共通　本人

・本人の生命または身体の保護のためにやむを得ない必要がある場合や　その他　の合理的な理由がなく，障害を理由として福祉サ―ビスの提供を拒否，制限，条件を課す，　その他　不利益な取り扱いをすること，これも禁止しなきゃならない。(意見交換会)

63　その他　全障害共通　福祉関係事業者等

・相談機関をもう一回編成し直す必要があるんじゃないか。北部・南部ア―チルや各民間の相談員の人々，こういう人たちに本当に地域に根差した権利擁護ができるようしていただきたい。(意見交換会)

64　その他　全障害共通　福祉関係事業者等

・言語表出のあるなしで意思があるないと判断してしまう部分があるが，障害のある方の前に一市民として意思があるというところをまず条例の中に含めていく必要がある。(意見交換会)

65　その他　全障害共通　本人

・病気はうつるのかとか，動きや言葉をまねされたりするなど，嫌がらせやハラスメントという意識の課題が大きい。差別をなくす仕組みの中に啓発・啓蒙の仕組みを組み込むのが重要。(意見交換会)

66　その他　全障害共通　福祉関係事業者等

・事業所をつくるとき，町内会への加盟や，何かの役割・お手伝いなど，地域の人のためになることをやるなど，地域の人と仲良くなる，地域の人のために何でもやるという姿勢を示しておくことが必要なんじゃないか。(意見交換会)

67　その他　全障害共通　本人

・条例に期待することは，救済機関をつくってほしい。(意見交換会)

68　その他　全障害共通　福祉関係事業者等

・虐待防止についても，条文を条例に組み込んでほしい。(意見交換会)

69　その他　全障害共通市民

・商店街事業主から，身体・知的・精神障害など耳にはするが，それぞれ法律があったことは知らない。障害者の実態があまり分からない，差別も見たことがない。((合同ヒアリング))

70　その他　知的障害　本人

・知的障害の方から，部屋を借りるとき障害者への理解が足りない。(合同ヒアリング)

71　その他　ひきこもり　家族

・ひきこもり支援センタ―家族から，周囲から「なぜ（家にいるの？）」と思われていることが気になった。子どもの状態を理解してくれる人がいると気持ちが楽になる。(合同ヒアリング)

72　その他　身体障害教師

・視覚支援学校教師から，全盲の方（特に中途失明の方）ですら近所では白杖を使わない例もある。ホ―ムル―ムで指導をしたが自分の障害を周りに話すことを嫌がる子供が多い。市バス・地下鉄で，視覚障害であることを他の乗客・運転手に理解してもらえず，白杖を持たせて視覚障害者であることを理解してもらった。(合同ヒアリング)

73　その他　高次脳機能障害　本人

・高次脳機能障害の方から，役所で手続きを教えてもらうためには，病気をきちんと説明する必要があるが，伏せておきたいこともあるので難しい。(合同ヒアリング)

74　その他　高次脳機能障害　家族

・高次脳機能障害の　家族から，高次脳機能障害の説明が難しいので，他の人に伝えづらい。(合同ヒアリング)

75　その他　身体障害教師

・視覚支援学校教師から，研修で，生徒は一人一人見え方が異なるため個々の生徒の見え方への配慮を伝えている。見え方の違いについて，いかに一般に知ってもらうかがポイントである。(合同ヒアリング)

76　その他　発達障害　家族

・発達障害児の　家族から，特別扱いしてほしいのではなく，適切な行動をさせるためには，どのような支援が必要か考えてほしい。(合同ヒアリング)

77　その他　発達障害　本人

・発達障害のある方から，悩んでいる方向性は人それぞれ（コミュニケ―ションの問題，就労の問題など）なので，一人ひとりに対応したメニュ―があればいい。(合同ヒアリング)

78　その他　高次脳機能障害　本人

・高次脳機能障害の方から，どうしたらバスや電車にスム―ズに乗れるのか，だれに聞けばいいのかわからない。運転手や窓口も説明がバラバラで困る。(合同ヒアリング)

79　その他　発達障害　本人

・発達障害の方から，気軽に相談できるホットラインがあればいい。嫌がらせの内容が名誉棄損になるかどうか，法律・　家族の介護などト―タルで相談できるワンストップの窓口があればいい。(合同ヒアリング)

80　その他　身体障害　本人

・ケアホ―ムを利用している身体障害の方から，タクシ―運転手はヘルパ―資格を持っている人が多い。JRやバスなどいろいろな職場の方が，高齢者・障害者支援，ヘルパ―などの研修受ければいい。(合同ヒアリング)

81　その他　高次脳機能障害　家族

・高次脳機能障害の　家族，入所施設（自閉症）職員から，差別解消には，市民への理解を広めることが大事である。(合同ヒアリング)

82　その他　自閉症　福祉関係事業者等

・高次脳機能障害の　家族，入所施設（自閉症）職員から，差別解消には，市民への理解を広めることが大事である。(合同ヒアリング)

83　その他　精神障害　本人・精神障害の方

・高次脳機能障害の方から，障害の認知度アップのため，自分の経験談を伝えていくことが大事。　家族に理解してもらうために自分がしたこと，　本人の生き辛さや　家族に理解されないことの悲しさなどをできるだけたくさんの人が語れるといい。(合同ヒアリング)

84　その他　高次脳機能障害　本人

・精神障害の方・高次脳機能障害の方から，障害の認知度アップのため，自分の経験談を伝えていくことが大事。　家族に理解してもらうために自分がしたこと，　本人の生き辛さや　家族に理解されないことの悲しさなどをできるだけたくさんの人が語れるといい。(合同ヒアリング)

85　その他　全障害共通市民

・商店街事業主から，障害の理解を深める取り組みについて事業所単位で取組むのは難しいが，街づくりで接点を多くしてコミュニケ―ションを取ることはできる。障害者と社会とのパイプを太くすることに貢献するイベントを企画したところ，参加店が協力してくれ，実行委員長として驚いた。参加店が受け入れてくれた要因は，店に負担がかからず，慣れている障害福祉サ　―ビス事業所が間に入ってくれ安心できたからであり，継続できたらいい。(合同ヒアリング)

86　その他　高次脳機能障害　家族

・高次脳機能障害の　家族から，障害者に対する差別は一昔よりは良くなっているように感じるが，　家族でもどこからどこまでが差別なのかが分からない。(合同ヒアリング)

87　その他　全障害共通市民

・一般雇用主から，差別解消法ができたことはよいが，障害者に対して何も言えないような法律になっている。構えてしまわないように接していくことが大切。食品を扱う事業のため手洗い・品質管理は障害のあるなしに関係なく指導していく。マナ　―はマナ　―として教えていく。(合同ヒアリング)

88　その他　全障害共通市民

・介護タクシ―事業主からも，障害者の中には，車内で喫煙するなどル―ルを守らない人も多く，人としてル―ルを守ってもらいたい。(合同ヒアリング)

89　その他　記載なし　―

・視覚障がい者の杖が，車椅子利用者の車椅子に巻き込まれる。（条例の会）

90　その他　記載なし　―

・ニュ―スで犯罪者の自立支援センタ―を作る際，住民が反対しているのを見て，とても嫌な感じがした。(条例の会)

91　その他　記載なし　―

・大学へ行きたいと言ったら学校の先生に一言で「無理」と言われた。(条例の会)

92　その他　記載なし　―

・小学校，中学校と地域の学校へ通ったが，学校の中ではお客さんであったのではないか，むしろ養護学校で学んだ方がよかったのではないか。(条例の会)

93　その他　記載なし　―

・家族が受けた差別についての条例も必要ではないのか。(条例の会)

94　その他　記載なし　―

・車椅子でバスに乗りづらい。(条例の会)

95　その他　記載なし　―

・ラッシュの時を避ける。(条例の会)

96　その他　記載なし　―

・交通機関にもっとアピ―ルしたら良いのではないか。(条例の会)

97　その他　記載なし　―

・社会偏見をなくす努力を。怒り・悲しみを共感できる社会を。(条例の会)

98　その他　記載なし　―

・幼い頃からの教育・学べる環境の重要性。大人の対応の仕方。(条例の会)

99　その他　記載なし　―

・視覚障害者の仕事というと，按摩，針治療，マッサ―ジが多いが，資格がなく行っている人もいる。(条例の会)

100　その他　記載なし　―

・五感のいずれかを失うと，支障がある。(条例の会)

101　その他　記載なし　―

・バスの乗車券について(条例の会)

102　その他　記載なし　―

・精神の障害のある方が，薬の副作用により朝起きられず，会社へ遅刻する日が続きクビにされたという話を聞きました。(条例の会)

103　その他　記載なし　―

・重度障害者は性の対象にも見られないこともある。兄弟と比べられる。(条例の会)

104　その他　記載なし　―

・車椅子利用者が一般乗用車に乗る時の困難(条例の会)

105　その他　記載なし　―

・選挙では，配慮が必要だと感じる(条例の会)

106　その他　記載なし　―

・日本語分かりますか？と聞かれた(条例の会)

107　その他　記載なし　―

・聴覚障害者は，外出することで危険な事が沢山ある。外出先でのトラブルにあったり，事故に巻き込まれそうになったりという話をよく聞く。盲ろう児者の方もそのように思う。特に盲ろう児者の場合，外出と限らず生活自体に支障をきたすことが多い。(条例の会)

108　その他　記載なし　―

・某ファイミレスに食事介助が必要な車椅子の方と一緒に行くと，長時間居座っていたと思われたのか，早く出て行ってくれと言われる。(条例の会)

109　その他　記載なし　―

・障害者同士が借りたお金を返さない。それを職員さんが何の対応もしない(条例の会)

110　その他　記載なし　―

・支援者として，引きこもり，アルコ―ル依存の方にどこまで差別なく支援できるか，気を付けなければいけないかと色々考える。(条例の会)

111　その他　記載なし　―

・隣の人から，「子どもがうるさい」と親ではなく警察や行政に直接相談された。(条例の会)

112　その他　記載なし　―

・トイレの改造で，ボタンを押せるかどうか業者に相談員が聞いたら「うちは馬鹿な人も相手しているから大丈夫だ」といわれた。(条例の会)

113　その他　記載なし　―

・空港会社で車椅子で飛行機を利用しようとすると，２時間前に来てと言われ車椅子も自分の身体に合わない車椅子に乗り換えを強要される。(条例の会)

114　その他　記載なし　―

・たまたま，トイレが混み合っていたので，障害者用トイレを利用したら，そのトイレが汚れており，「しょうがない」と言っている人がいた。(条例の会)

115　その他　記載なし　―

・介助をしている際に，舌打ちをされた。また，面倒くさそうにされることもある。(条例の会)

116　その他　記載なし　―

・私はポリオの会へ所属している。障害は，見た目に分かる障害と分からない障害（精神障害や内部障害）がありそれぞれに色々な思いがあり生活していると思う。(条例の会)

117　その他　記載なし　―

・特別な配慮を強いることによって，障害者がクロ―ズアップされてしまう。特別は配慮ではなく，普通の配慮を。(条例の会)

118　その他　記載なし　―

・社会全体の理解不足を感じる。市制たより等のチラシで，障害についての説明やこうして欲しいという掲載してほしい(条例の会)

119　その他　記載なし　―

・余暇活動ができない社会。放課後週１～２回のみのタイムスケジュ―ル。放課後も無い。(条例の会)

120　その他　記載なし　―

・病院でも待ち時間(条例の会)

121　その他　記載なし　―

・権利主張とマナ―の折り合い(条例の会)

122　その他　記載なし　―

・行動援護中，地下鉄ホ―ムから線路に物を投げてしまう方がいる。駅員に何度も怒られた。(条例の会)

123　その他　記載なし　―

・公共機関，バス・電車の優先席の徹底をしてほしい。レストランも優先席ができないか。(条例の会)

124　その他　記載なし　―

・降所（通所施設から帰る時）15：30の後の過ごし方。毎日，月～金まで降所してから夜までが長い。(条例の会)

125　その他　記載なし　―

・医者の対応が冷たい。説明不足。（　その他　）(条例の会)

126　その他　記載なし　―

・旅行に行ったとき，アクセスの悪さエレベ―タ―はあるが移動がとても大変。ホ―ムの先端から先端まで駅員がいないと移動できない。(条例の会)